



## 持続可能なモビリティ 社会の実現

日産自動車株式会社  
最高執行責任者

志賀 俊之

### 持続可能なモビリティ社会の実現

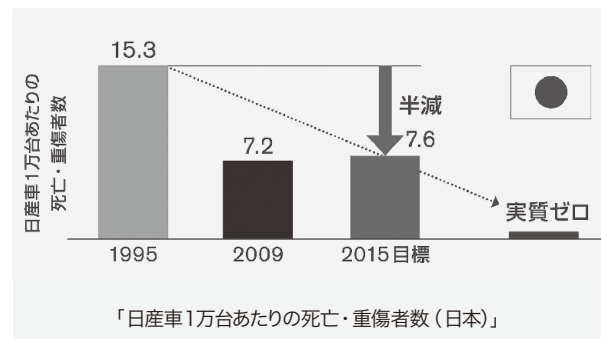
日産は今や、売上高では世界で上位 50 位内に入る企業となりました。また、世界のブランドランキング トップ 100 にも名を連ねています。当社の経済への影響は小さくありません。これまで以上に社会的責任を担うことが求められています。日産は、より安全且つ効率的なクルマづくりを進め、雇用を創出し、教育・環境・人道支援等、重要な社会のニーズに貢献し、価値の増大に努めていきます。

日産の CSR 活動の一環であるブルーシチズンシップでは、サステナビリティ、モビリティ、そしてコミュニティという三つの領域を重点分野に掲げています。

一つ目のサステナビリティの領域では、当社は持続可能な事業の成長と、環境負荷の低減に集中的に取り組んでいます。

第二に、日産は世界中のお客さまに、魅力溢れる、安全で信頼性の高い手頃なモビリティをご提供することに取り組んでいます。当社は、日産車がかかわる死亡・重傷者数を 2015 年度までに 1995 年度比で半減させる目標を目指していましたが、これを 2009 年度に 6 年前倒しで達成しました。現在は、2020

年度までにさらに半減させる高い目標に向かって活動を続けています。最終的には、死亡・重傷者数を実質的にゼロにすることが究極の目標です。



三つ目の領域はコミュニティです。広く社会に貢献し、私どもが事業を行う地域社会を支援する取り組みです。1999 年の日産リバイバルプラン以降、当社は教育、環境、人道支援という三つの分野で、社会貢献活動を続けて参りました。

3 月 11 日に日本を直撃した東日本大震災を受け、いち早く支援に乗り出した多くの企業の一員として、義援金の拠出や車両提供を中心に活動を進めてきました。例えば、四輪駆動のニッサンパトロール 50 台を NGO に寄贈するとともに、ガソリン不足に悩む被災地に 100%電気自動車「日産リーフ」65 台を無償貸与し、支援活動に貢献しました。また、これまで延べ 1,200 人以上の従業員が被災地でボランティア

ア活動を行っています。

米国で始まったハビタット・フォー・ヒューマニティとの6年間に亘るパートナーシップでは、これまで延べ56,000時間にのぼる従業員によるボランティア活動を展開してきました。ハビタット・フォー・ヒューマニティとのパートナーシップは、今後、複数の新興国にも拡大していく予定です。

本年6月には、新たな中期経営計画「日産パワー88(エイティエイト)」を発表しました。これは日産の成長をさらに加速させようという計画で、今後6年間の指針となります。本計画は、会社の将来像を描くだけでなく、全てのお客さまへの約束でもあります。

本計画の狙いは、世界中の成長市場でリーダーになり、収益性を確保すること、電気自動車と低排出ガス技術を通じた持続可能なモビリティ社会の積極的な推進、及び全ての人にモビリティをご提供することです。私どもは、日産のブランドパワーとセールスパワーを強化し、商品とサービスの質の向上に努め、クルマをお求めの世界中のお客さまに、魅力的な競争力溢れる商品ラインアップをご提案していきます。

また、10月には「日産パワー88」の経営目標に対応する新たな中期環境行動計画を発表いたしました。ニッサン・グリーンプログラム2016、略してNGP2016と称する本計画は、日産のCSR活動の一環であるブルーシチズンシップを支える柱の一つ、サステナビリティ、すなわち持続可能な社会を目指す取り組みです。NGP2016では、低炭素化、再生可能エネルギーへの転換、そして資源の多様化という三つの分野に焦点を当てて取り組んでいきます。



NISSAN  
GREEN PROGRAM

「ニッサン・グリーン  
プログラム2016」

いま産業界は、持続可能な発展に向けて、数々の課題に直面しています。国連が発表した世界人口予想によると、2050年には世界の人口は現在の70億人から90億人に増え、都市人口は7割に達すると推計されています。この統計からも、今後、天然資源の需要、工業・農業生産、そしてエネルギー需要が増加することは明らかです。例えば、中国とインドの2カ国は、2035年に世界のエネルギー総需要の3分の1を占める見込みです。今、企業は経営戦略と方針をグリーン経済に沿って見直し、断行することが求められています。NGP2016は、これらの課題に対する、私ども日産の包括的な取り組みといえるでしょう。

日産は、「人々の生活を豊かに」というビジョンのもと、持続可能なモビリティの実現を目指し、「ゼロ・エミッション車の領域でリーダーになること」、また、「より多くのお客さまに手ごろな価格のクルマを提供すること」を目標に掲げ、企業活動を行ってまいります。

日産は、価値創造とCSRをバランスよく両立させながら、持続可能なモビリティ社会の実現に向け、中期経営計画と中期環境行動計画という二つの補完的なアプローチで、活動を進めてまいります。

今後の日産に是非ともご期待くださいますよう、お願いいたします。



日産リーフ